

平成21年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「ゆず」を利用した特産品開発事業
事業主体 (連絡先)	天龍村商工会 (清水衆一 0260-32-2066)
事業区分	(6)オ その他地域の特色及び個性を活かした産業振興並びに雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	845,335 円 (うち支援金: 809,000 円)

事業内容

天龍村では、村内各地に自生している「ゆず」を使った特産品が商品化されていますが、今回ゆず果汁を絞ったあとの皮を利用して新たな特産品作りを目指し、「ゆずうどん」の開発に取り組みました。皮を乾燥したあと、粉末状にしてうどんに練りこみ試作、試食を重ね、より多くの意見を聞く中で改良し完成度を高めていきました。同時に、成分分析やラベルデザインの検討、またゆず加工品の先進地である高知県に視察に行き商品化の成功事例を研修しました。将来に向けた取組として苗木の配布も行い生産拡大への普及活動を行ないました。



【ゆずうどん】

自己評価 (事業実施率) 【80%】

事業効果

- 廃棄されていたゆずの皮の有効活用ができました。
平成21年度対平成20年度比廃棄量7.0%減
- 商工会、観光協会、農林業公社、役場を中心に検討を重ねたことで、農商工連携として各機関が積極的な取組みと意見交換ができました。
- 新聞、テレビ、ラジオなどの報道機関に取り上げられ、地域内外に対して大きなPRとなりました。
- 機会があるごとに試食を行い、特に学校給食に提供でき多くの世代から率直な意見が聞くことができました。

【目標・ねらい】

- ゆずの多方面への有効利用研究
- 特産品の開発
- 特産品の販路開拓
- 取組みの住民へのPR
- ゆずの生産意欲の拡大

自己評価 (目標達成率) 【B】

今後の取り組み

「ゆずうどん」の試作品の完成度については、試食を重ねても評価はそれぞれであり、一定の高い評価を得るにはもう一度乾燥方法、粉末方法について製法を検討し試作を行なっていく必要性を感じました。販売については、顧客ターゲットの絞込みを行ない、セット商品、関連商品の開発も同時に行なっていき、また、安全安心志向と天龍村の統一イメージのPR戦略が今後必要となります。以上の課題について今後、関係機関と協同で意見交換と試作を重ね、取り組んでいきます。

※ 自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。